

竹を燃料に含めた産業利用 バイオマスガス化熱電併給システム

株式会社 NEO

熱電併給(コジェネ)による農業利用と地域活性化への提案



概要・特徴

日本国内で、特に山口・九州地域における荒廃竹林の伐採整備作業によって得られる竹材を50kw未満の低圧小規模ガス化発電システムを導入することにより、熱電併給(コジェネ)による農業利用と地域活性化への提案を行う。

① 竹を主燃料とする小型ガス化発電システムの開発研究

平成28年度にNEDO事業で実施した3社の共同研究成果を基にして、添加物を加えた竹を燃料に含むバイオマス発電を実証したい。

② 竹チップ端材である「竹粉」を併設するビニルハウス内の「マルチング」材に

バイオマスガス化発電機に投入できない大きさの竹粉を、マルチング材として廃棄物に出さない処理をする。

③ 使用済み燃料の竹端材を太陽光発電所の地面に敷設

太陽光発電システムのEPC経験を最大限に活かして、竹を土壌改良材として有効に利用する。

適用範囲・用途

・適用範囲

熱利用(温水)施設、乾燥(冷暖房)施設、小規模ビニルハウス、施設園芸農家、小規模植物工場

・用途

通年農業用作物への熱電併給システム導入、バイオマスガス化発電システムの主燃料、農業用土壌改良材、破砕竹材を用いた太陽光発電の基礎用マルチング材

工業所有権等

特許・実用新案・商標登録等の排他的権利 【有】

お問合せ

株式会社 NEO 環境事業部
〒822-0001 福岡県直方市感田 2433-1
0949-26-3191 info@neo-ss.co.jp